

静岡県西部地域の旅客の移動

特定非営利活動法人 静岡県西部地域しんぎん経済研究所

〒432-8036 静岡県浜松市中区東伊場2丁目7番1号

☎053-452-1510 <http://www.shinkinkeizai.jp/>

国土交通省が今年の3月に公表した「全国幹線旅客純流動調査」をもとに静岡県西部地域の旅客の移動について説明します。この調査では国内の交通機関における旅客の流動といったものを把握することができます。ここでいう旅客とは、観光に加え仕事や帰省といった目的も旅客に含まれます。また、旅客の流動には通勤や通学および県内での移動を含みません。この調査は1990(平成2)年度に調査を開始して以来、5年に1回の頻度で実施しており、今回の調査は2010(平成22)年度に実施した調査となります。

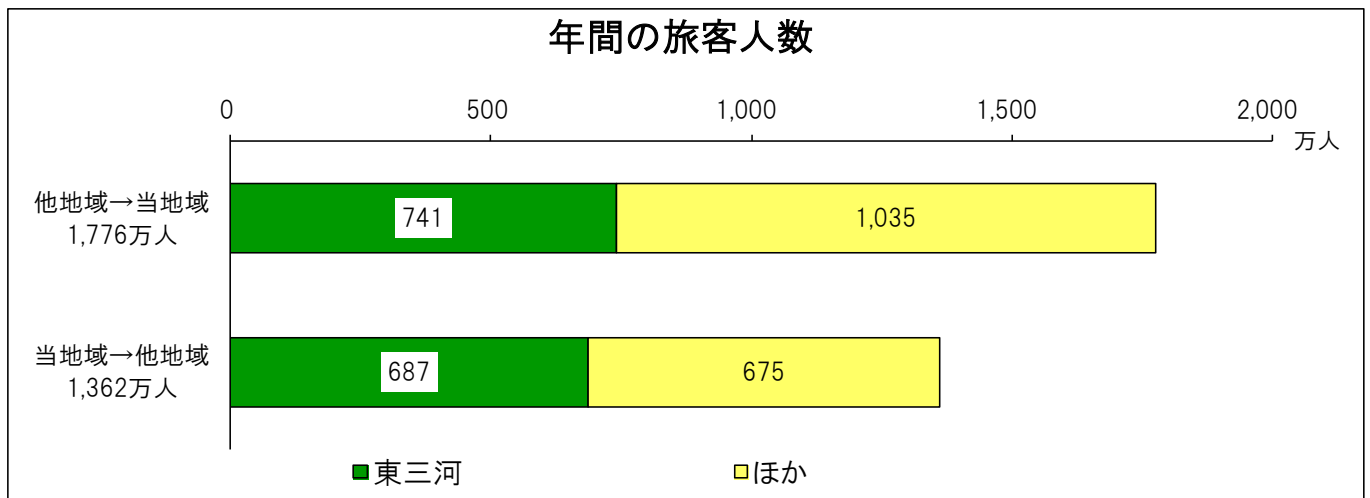
◆代表交通機関別の流動量

他地域に住んでいる人が当地域を訪れる年間の旅客人数は1,776万人です。そのうち、当地域へ来てくれる最も多い地域は東三河で741万人と全体の4割に相当します(図表1)。

また、当地域の居住者が他地域に出て行く年間の旅客人数は1,362万人です。出て行くよりも来てもらう方が4百万人多いことが分かります。当地域住民の旅行回数ベースは一人あたりに換算すると年間10回に相当します(当地域人口133万人)。当地域からの最も多い目的地は出発地と同じく東三河で687万人になります。

利用する交通機関で最も多いのが出て行く・来るとともに乗用車で8割を占めます。次いで多いのが鉄道となります。県外をまたぐ移動はこの2つの交通機関でほぼ全てを占めます。

【図表1】当地域における年間の旅客流動量



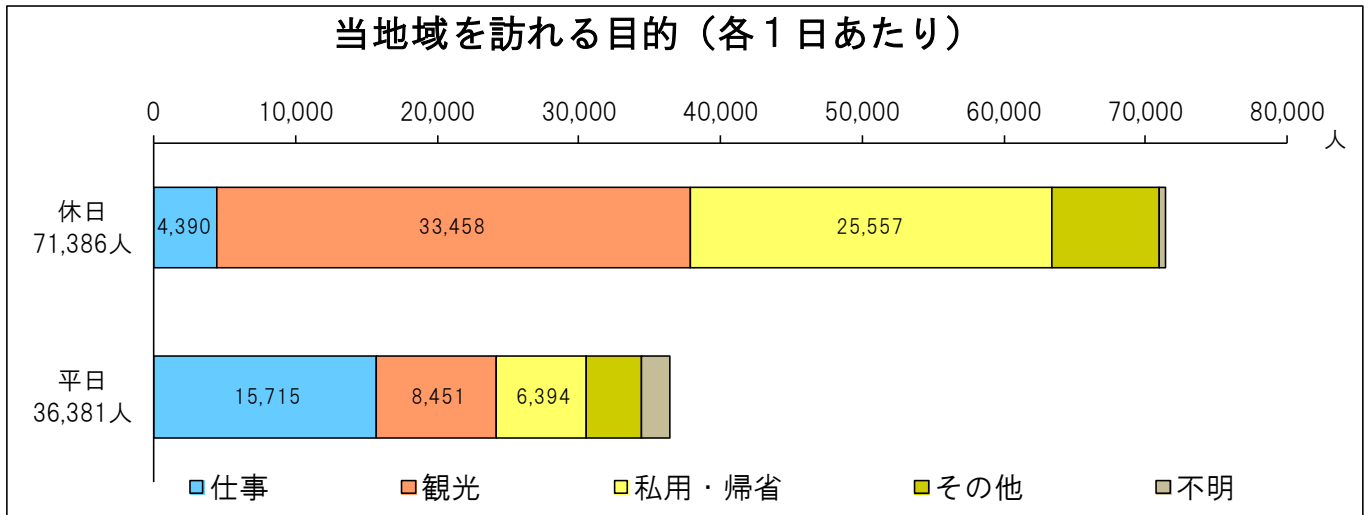
◆移動の目的

平日と休日に分けた場合、平日1日の当地域を訪れる旅客人数は3.6万人です。目的別にみると、仕事目的が1.5万人と最も多く4割を占め、次いで観光が8千人と2割を占めます(図表2)。

一方、休日に当地域を訪れる旅客人数は7.1万人と平日のほぼ倍になります。目的別では観光目的が3.3万人と最も多く全体の4割を占め、次いで私用・帰省が2.5万人と3割を占めます。このように平日と休日では旅行目的も人数も大きく異なっております。

冒頭で述べた“当地域を訪れる”、“当地域から行く”ともに最も多い東三河を目的別にみると、平日に当地域を訪れる目的は全体と同じく仕事、観光、私用・帰省の順となりますが、3つが均衡しており相対的に私用・帰省の割合が高くなっております。一方、休日に当地域を訪れる目的では私用・帰省が最も高くなり、次いで観光、その他と続きます。地域が隣接していることから休日平日問わず私用・帰省が多くなっております。観光、仕事だけでなくプライベートの関係でも当地域と東三河地域とは密接な関係にあるといえます。

【図表 2】 当地域を訪れる目的



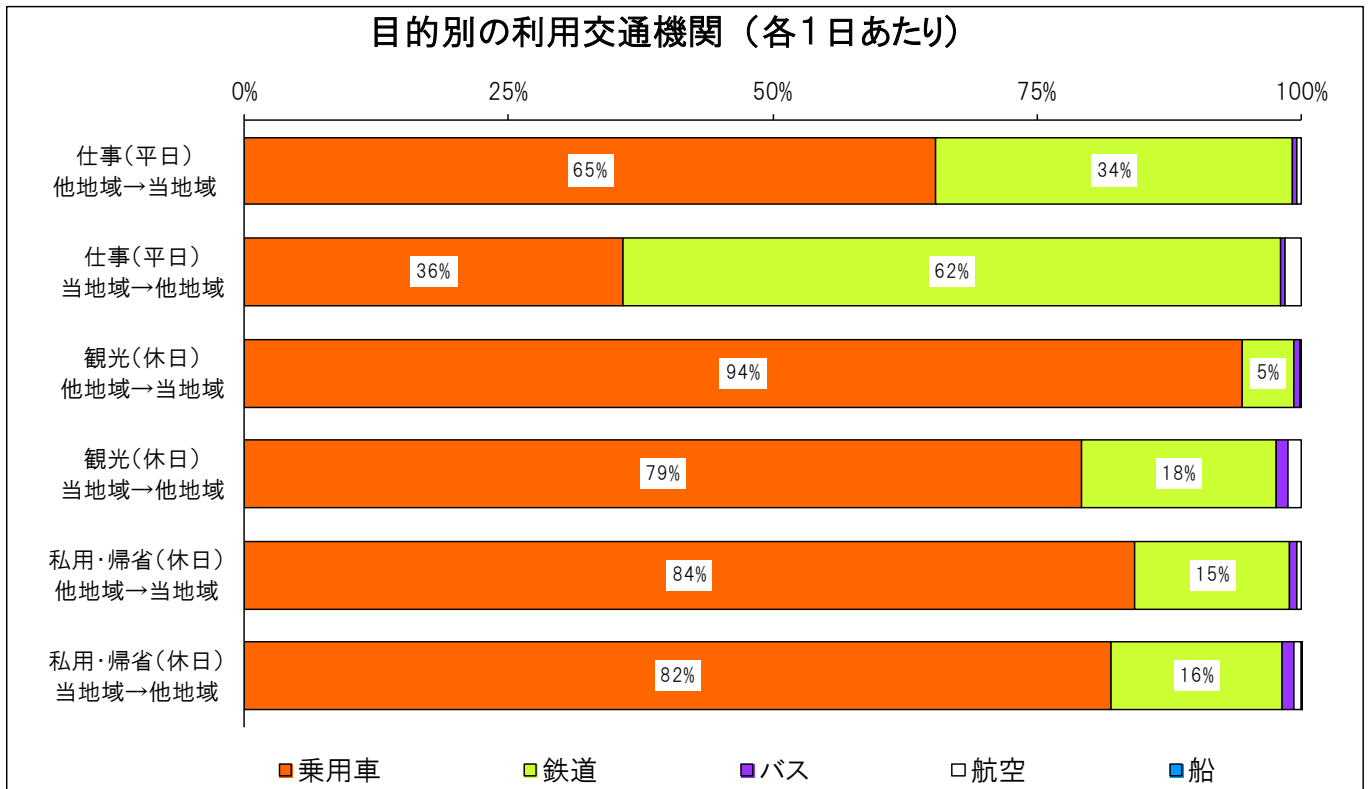
◆ 目的別の交通機関

目的ごとに利用する交通機関をみると、平日に仕事で当地域を出ていく場合に鉄道の利用割合が最も多いのを除くと、他の目的では乗用車の利用割合がいずれも最も高くなっております(図表 3)。特に休日に観光で当地域を訪れる 9 割以上が乗用車を利用する結果となっております。

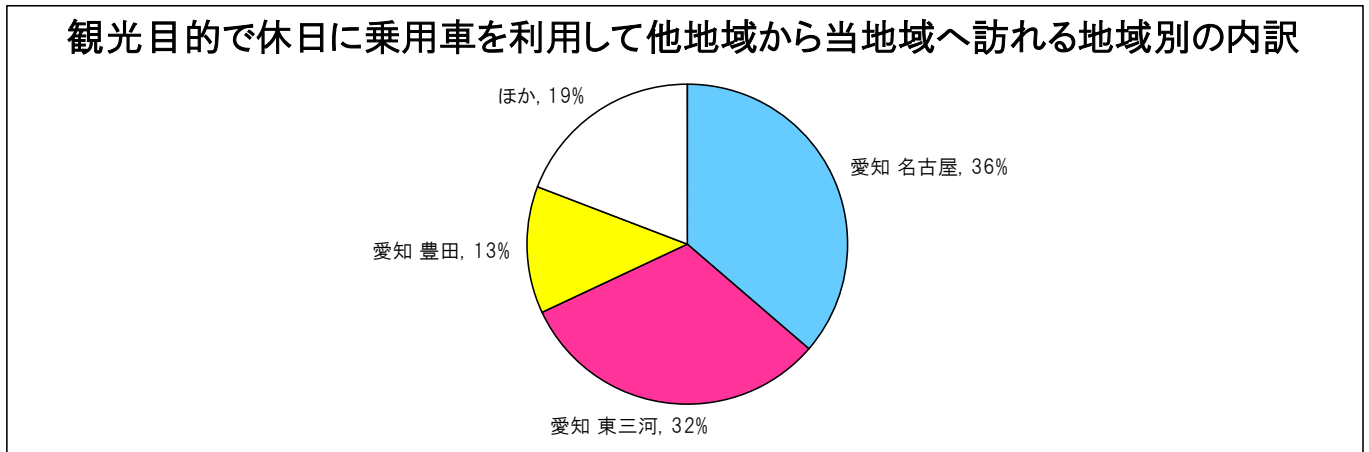
休日に乗用車を利用して当地域を訪れる観光客の最も多い地域は名古屋で 36%、これに東三河(32%)、豊田(13%)が続いており、愛知県の上記 3 地域で全体の 8 割をも占めます(図表 4)。

休日に鉄道を利用して当地域から観光を行う場合、最も多い地域は東京 23 区であり、次いで京都となります。公共交通機関のアクセスの良い地域が上位を連ねております(図表 5)。鉄道を利用した観光では公共交通機関が発達している都市圏が好まれるようです。

【図表 3】 目的別の利用交通機関



【図表 4】 観光目的で休日に他地域から当地域を訪れる地域別の観光客内訳



【図表 5】 当地域から休日に電車を利用して訪れる旅行先

